

## 世界トップの無線ソリューション企業を目指して

Aiming to be one of world's leading providers of solutions to radio-related problems



取締役常務執行役員 生産担当 兼 事業担当補佐 (海外)

軍 司 明 允

Yoshimasa Gunji

Director and Managing Executive Officer

Production and International

当社は、1915年に誕生し、あと数年で創立100周年を迎える。そして約一世紀に亘る事業の中で、無線ソリューションを提供し続けてきた。これらは、半世紀以上も前の南極昭和基地無線通信設備、あるいは風雪にさらされる山頂のレーダー、極寒の海で操業する航法漁労機器などに代表され、極めて過酷な環境においてさえも安全を確かなものにする為の無線ソリューションであったと考える。これらを技術的な面から見ると、ハードウェア主体の独立型ソリューションであり、たゆまぬ無線技術の研鑽と経験を駆使して、極めて過酷な環境でも耐えられる機器を作り、より難しい分野へのソリューション提供に挑戦し続けてきたと言える。

地球環境、有限な資源、これらを踏まえた効率化そして利便性など、これからの社会の発展を考えた時に、無線ソリューションは人や車や動物などの移動体だけでなく、時々移動する半固定の機械などさまざまな領域に広がって行き、これらの状態や変化の情報を収集、結合、分析し、結果を再配信することによって、これまでよりもはるかに高度な、安心・安全そしてエネルギー効率に優れたスマート社会の実現に貢献していくと確信している。たとえば、動物にセンサーと何らかの通信手段があれば、動物の動態を知り、危険な方向に移動していれば、動物に不快の刺激信号を送り、安全な方向に向かっていけば快の刺激信号を送ることができる。このような方法を牧畜に応用すれば、家畜をより肥沃な草原に導くことができるために、安全に効率良く食料や衣糧の生産原料を得ることが可能となる。

これからのソリューションの領域は、さまざまなネットワークやクラウドコンピューティング、アプリケーションなどが複雑に組み合わせられ、これまでの当社のように、無線通信機器あるいはセンサーとシステムの供給など、主としてハードウェア提供を生業としてきた一社だけの経験や技術で成り立つ領域をはるかに超えた広範なものになる。そしてこのソリューションは、誰もが参加できるオープンシステムの機能も備えなければならない。動物学者は動物への快・不快の刺激の改善や生育のセンシング向上に参画し、地図や気象情報の企業は、情報提供のビジネスに繋がる。また、このソリューションは飼育過程と市場とをつなげれば、ビジネスを創るサービスシステムに発展するかもしれない。このようにオープン化することによって、新たな息吹が吹き込まれ、このソリューションから得られた情報の利用と学習によって、既存のソリューションを新たな機能を持つものに成長させていくことができる。

このようなソリューションの基幹を担う通信キャリアやコンピューティングの巨人は世界中に存在し、優れたシステムを持っており、これらの利用なくしてソリューションは実現できないことを認識しなければならないが、もう一方で、動くものには無線が不可欠なことは疑う余地がない。無線は行き先を線の中に封じ込め意図するポイントに送り届ける有線に比較すると、ビーム技術の活用などで、原理的には意図する空間の中に届けることができ、面あるいは空間のサービスを提供できる最大の利点を持つが、反射や屈折あるいは気象の変化で、意図しないところへ到達することもあり、また到達しない場合もある。このように極めて利便性が高いものであると同時に野性味にあふれた制御しがたい側面を持つ。

社名の一部である無線という視点で当社を見直してみると、一世紀に亘り無線技術を磨き続けた、極限環境でも動作させられる高度な無線技術と経験を有し、社員の根底には難しいものに挑戦し続けるDNAが流れており、このような無線の特質を保ち続けている企業は世界でも数少ないと言える。そして、当社の役割は、最も得意とする無線をネットワークやコンピューティングに融合させ、社会の機能やサービスに貢献できるオープンで成長する無線ソリューションを提供することと考えている。

当社が、もうすぐ迎える新たな一世紀で社会への貢献を確かなものにする為、これまで磨いた無線技術とDNAを継承し、他のものと摺合せ、世界でトップの無線ソリューション企業を目指して全力で走り続けて行きたい。